

## 市民との意見交換会会議録

報告日及び報告者 H25.12.9 次藤 栄 円谷長作

1. 日時 平成25年11月21日(木) 午後6時30分～午後8時30分
2. 場所 北町コミュニティセンター
3. 出席議員 作田 博 国分勝広 遠藤孝夫 佐々木広文  
円谷長作 次藤 栄 菅野健治 (7名)
4. 出席市民 24名
5. 会議経過

### 【午後6時30分開会】

- ◇国分議員 開会宣言
- ◇作田議長 挨拶

開催趣旨として、本宮市議会として、初めての試みであり、小学校区単位の7会場で実施を計画し、議員の割り振りをした等。

また、議会としての開催であり、議員には、執行権はないので、あれをやれとかいわれても、即できないが皆さんの意見をまとめて議会として市に対応していく。議員個人々の意見は差し控えさせていただきたい等や、意見交換会の進め方の留意点などを踏まえて、挨拶を行った。

(その後、出席議員が各自氏名、所属常任委員会を自己紹介、事務局の自己紹介を行い報告に入る)

### 【報告】

- ◇ 佐々木議員

別添資料第1回本宮市議会市民との意見交換会(会場で配布)により、議会構成、定例会、臨時会の審議の概要、会派制の導入と政務活動費について報告を行う。

#### 《質疑 要旨》

- ◇国分議員

司会より、質問のある方は、名字と出身区とか館町とか名乗ってもらえればありがたい。アンケート用紙が配布されているので記載していただければ、ありがたい。

問(市民) 政務活動費について、新たに作られたが、①今までにそれに該当する項目はなかったのか、なかった中でどのような活動を行っていたのか②政務活動費を使って、どういう活動をして、どういう進展があったのか、7名の議員全員に1人ずつ聞きたい。③どのくらいの費用がかかったのか聞きたい。

④領収書についても、国会議員は、何万円以上とか言っているが、本宮市は、1円単位の領収書を添付するのか。

答 佐々木議員 領収書については1円単位の明細書を添付し、3月31日で締めて、4月30日までに報告する。4月1日からの導入であり、他市議会および講師の先生を呼び勉強会を行い、間違いのない使い方をしている。

答 作田議長 政務活動費は今迄、なかったもので、ほとんど4つの常任委員会ごとに活動を行ってきた。したがって、その委員会の調査しか出来ない。4月から、会派制ができたので、政務活動費を使い、委員会以外の調査活動を宿泊費、交通費を含めて充てる事が出来る。実績については、各省庁、大臣に除染の問題などを陳情した。領収書についても回答。

問 (市民) 市民は、議員がどれだけ努力をし、行政に反映させているかわからない。勉強するだけなら私たちも日常的にしている。費用を議員に渡したからには、行政に反映して初めて渡した事が理解できる。議会だよりを見ても、何々を提案し、市は、それを検討するしかない。議員としてビジョンを持ち、いつまでに、どういう形で実行するとかがなかった。7人いるのだから、私はこういう事を実行したとか、実績を、予算をいくら使って何が出来たか、1人ずつ発表してもらいたい。

答 作田議長 冒頭にも話したが、個々の議員のPRする場ではない。全体として話をする。成果については、毎年各常任委員会ごとに要望書を作成し、市長に提出している。前年度は、どのくらい成果があったのか、9月議会の決算で成果報告書と照らし合わせて確認している。

問 (市民) 提出するのはかまわない。具体的に成果が上がったとか図表で示す事。

問 (市民) 関連質問、政務活動費は会派に属さない議員は活動費を貰っていないと言う事か。

答 佐々木議員 資料のとおり貰っている議員と貰っていない議員がいる。

問 (市民) 貰っていない議員も活動はできているという事か。貰っている議員との差はどう見るべきか。半年も過ぎているのだから、前の方の発言でもあるように、貰っている議員はこれだけの成果が上がっていると報告してもらいたい。税金を使っているのだからもう少しシビアになって貰いたい。

答 国分議員 貰っているのではなく、この範囲内で使える。貰っているのではない。

問 (市民) 同じ事だろう。

答 国分議員 同じ事ですが、申請である。個人的に言わせてもらえば、明治大学で議会活性化、少子化に対して社会保障をどうするか講演会に行ってきた。

問（市民）そういうことを具体的にしてほしい。

答 作田議長 今まだ途中である。そういうことをふまえて、3月31日に閉める。年間12万円、余ったものは全て返す。使途が決められている。記載のとおり飲食代等はだめ。他市に見習って著書の購入は認めるが、だめな本もある。本を買わなくても、わかっている人もいる、考えも能力も違う。

答 佐々木議員 会派の会報、活動報告を、先日新聞折込で発行した。その中に復興大臣、少子化大臣へ要望活動等を行った旨の報告をした。

問（市民）みらい創和会、新風会の活動の特徴は何か。地元出身の大臣へどういう内容の話をしたのか。

答 次藤議員 議会として要望した事が現在どうなっているのか。内容は5項目、側溝や道路、農業用水路の除染を早くして頂きたい。との要望であるが農業用用水は農水省、道路は国交省、縦割り行政で除染が進まない。復興省や環境省がやれといえれば出来るのに、なぜ出来ないのか。旧町内の仮置き場を設置しなければならない。発表できる段階ではないが、旧町内の仮置き場を設置してもらいたいと環境省に申しあげてきた。本宮時代から問題があったところであり結論が出ていないが、どうなっているのかと話した。環境省の事務官を呼んで話した。企業誘致の補助金の期間を延長してくださいと申しあげてきた。本宮市の懸案事項をみらい創和会としてやってきた。広報を1回出した。

答 遠藤議員 新風会の会報を1ヶ月前に新聞折込を出した。研修として、上尾市の産業振興の状況と駅の橋梁関係、本宮市も西口方で色々検討されている。白沢の子供屋内、屋外遊び場もあるが、世田谷の施設を研修した。8/5の水害の実態調査を行い市へ反映した。半年以上過ぎているが、今後は、復興の状況とか浪江の瓦礫処理とか東北全体の復興の状況とか見て色々市へ提案して行きたい。

問（市民）世田谷へ行かれた内容と場所は。

答 遠藤議員 NPOで自然の環境を利用しながら、屋外の遊び場をやっている。世田谷の羽根木にある。

問（市民）東日本特別委員会の内容について報告を貰いたい。原発の事故の問題、保険法における放射性物質の除外、子供支援法の内容、名目的に動いているようであるが、どう考えているのか聞きたい。

答 円谷議員 東日本震災、原発事故を受けて、早く復旧・復興を放射能除染、健康管理をやっていこうとして特別委員会を設置。現在の状況は、特別委員会の資料により和田地区の除染の終了などを説明。

問（市民）資料があるようなので、旧本宮町の除染計画はどうなっているのか気にしているので教えて欲しい。

答 円谷議員 26年度中には契約にこぎつけたい。27年度には本宮市内、全て終了する計画である。

答 作田議長 仮置き場の関係もあり特別委員会として伊達市を視察してきた。道路脇、通学路から20メートル位のところに積置かれている。大丈夫だといっている。測定すると0.0何がしである。町内会でも伊達市の方へ出向いてもらいたい。現場を見てもらいたい。和田地区でもやっている。見てもらいたい。

問(市民) 賠償の保障が3年で時効になる。今までの公害病を見てもなかなか結論が出ない。加害企業に責任がある。特別委員会できちんと議論してもらいたい。そして、要望書とか請願とか大臣もいる事から、出して貰いたい。

### 【意見交換会】

国分議員 質疑がないようなので意見交換に移る。

遠藤議員 意見交換会の開催時期とか7小学校区単位とか、時間がどうなのかなど意見を聞かせて貰いたい。市の方でも懇談会をもう少し細かい会場で実施している。

問(市民) 1月、2月に各3箇所を実施、住民の意見が学校区単位によって違うので住民の意見と各議員の意見を聞きたいので、同日ではなく別々にしてもらいたい。また、それぞれで要望がある、議長は先ほど執行権はないといったが議決権はあるので、強い意志をもって対応してもらいたい。要望について、言ってもよいか。

遠藤議員 それは、テーマの後で話す事にする。1月2月と6会場で実施する。活性化委員会で決めたが、今後については持ち帰りとしたい。皆さんから開催に当たって色々あれば意見を出してもらいたい。

問(市民) 会派制による議会運営はこれから進化していくのだろうが、今日のような形で交換会が運営できるものなのか。常任委員会で要望を取りまとめて部局の方に上げてきているが会派による運営となると会派による要望という事も出てくるのではないか。どうなるのか。

答 遠藤議員 今後、会派による意見交換会とか、常任委員会で出してきた要望なんかも他市を見てみると会派での要望提出も聞いている。今後そういったことも議会の運営や会派の中で検討、精査し方向性を出していく事になるだろう。

問(市民) 議会だよりだが、例えば、国保なら国保で1年間コーナーを作り、知らせるコーナーでもあればよいのかなと思う。余計な事だが、選挙のとき、国保について書いている方に期待をして1票を入れた。市民は期待している事があるので、何か、項目について、1年間を通じて記載するのも良い事では

ないか。こうなったのだと分かるので、議会だよりが来るのを楽しみに出来る。

市民懇談会とか？ホールボディカウンターとか岩根は最後である。ホールボディカウンター設置しました。やりました。とか聞いたが岩根に回ってきたのは1年後である。白沢とか子供たちはやったが私のところに来たのは1年後である。忘れられているのか。市民の平等を考えれば、この会合も岩根のほうから始めればよいのではないか。パソコンで順番は決まっているのか。柔軟な考えでやってもらいたい。

喜多方から来たが、本宮は東北、北海道で住みやすい都市で1番になった事が嬉しかった。市役所に行ってもどこに行っても親切。でも、ひとつ気がついたのは、郡山や福島みたいに、あれもやれ、これもやれで、作っていったらつぶれる。小さな市は小さな市としてこれだけだ、で、よいと思う。郡山なら郡山と提携し、郡山の図書館と本宮の図書館で自由に本を借りられるようにすれば良い。

議会の事は、期待している。震災の事とか、一番遠い所とか心配してくれていると思う。議員の顔を見る事がないので、今日のようにいろんな所に顔を出して意見交換をして貰いたい。岩根の方から来て、余計な事を言って、地域の人たちに申し訳ない。

答 作田議長 初めての経験、試みであり、冒頭に申しあげたとおり緊張している。常任委員会で要望を取りまとめて、12月3日から議会が始まるので要望を取りまとめ、出していく。結果は、9月議会に決算が出されるので成果報告書の中でそれぞれの議員が確認している。

県の借入金についても説明。栄田住宅団地は、8千万円を今年二本松の土地開発公社に返せば終わる。

答 遠藤議員 先程、ホールボディカウンターの話が出たので、最初は小さい子供から始まって、一回目の検査が終わった。これから2回目に入る。線量の高いところから、子供からという事で始めている。岩根を遅くという事ではないのでご理解を。

問 (市民) 線量計をえぼかでやっているが最初は、男の人でスムーズにできた。2回目は女の人でファイルをずっと見ていてどう対応していいのか分からない。線量計を計算するが前の計算と違っている。除染も必要、いろんなことをやるのも必要だが、一番の戦力は本宮市の職員である。放射能や除染とかいろんな事に対しての研修を定期的に設ける事が戦力になる。放射能の事を一番知っているのは市長である。交換会のときに市長は何でも答えたが、周りにいる職員は答えられない。

答 遠藤議員 ホールボディカウンターの計測結果、1ミリを超えているのは

いない。

問（市民）議長に聞きたい。議員研修の個々人の報告書がなくなっている。なぜ、なくなったのか。議員の報告書は、議員の考えがあり参考になる。3年間の報告書を取り寄せた。議員がどうしなくちゃならないとかの考えが入っており参考になる。

答 作田議長 復命書は提出している。研修後に委員会で話をして取りまとめて委員会として提出している。以前は議員ごとに出していたが、同じような内容なら、研修から帰ってきて委員会としてまとめた方がいいだろうと判断した。

問（市民）報告書は市民に対してどういう形で出するのか。市民コーナーを公民館に作って欲しい。議員の質問とか、議員それぞれが違う。総合計画とかやっているが見えるようにしてもらいたい。

答 作田議長 今日、頂いたいろんな意見を精査しながら、良い方向に、期待が持てる方向にしていきたい。

遠藤議員 その他のテーマで意見交換をしていきたい。

問（市民）大体出尽くしたのかなと思うので、地域のことで、水害の関係で堤防をやっていただいているが、私は、11年、12年と町内会長をした。高木から来る子供の通学路でなおしてもらいたいと前佐藤町長にお願いしたら、堤防を作るときにやると言った。堤防に5メートル道路を作るが、子供の登下校の安全をしっかりとってもらいたい。市長の懇談会には、議員はあまりこないが、この機会に議員からも機能できる道路が出来るように協力に進めてもらいたい。

憩いの家の件だが、立て替えをすると聞いているが、大広間や8畳間に医療器具が置いてあるなど中途半端である。憩いの家も古くなったので立派なものが出来るように取り組んでももらいたい。

答 国分議員 道路だが、一般的に市単独の事業と補助事業がある。市としては、補助55%の事業をやっている。本宮市は金がないから補助がつけばやるのだろうと思う。堤防の関係は国交省なので関係ない。市長が変わったので？議会としては、要望はしておく。

答 作田議長 老人憩いの家の件だが、新規事業をするときは財政健全化計画の中に入れていく。27年から設計に入って28年度中に立て替える（29年にまたがるかも）方向で進んでいる。担当課や担当常任委員会でも話をしている。

答 次藤議員 前から立て替えの要望をしている。今回も市民にとって必要なので予算要望をしている。

問（市民）築堤をやってるが、今年はこの地域は報道されていた程の豪雨で

はなかったが、上流から流れてきたどの程度まで川の水位が上がったときに水門が閉じられて、ポンプによる排水なのか。どの程度までが安全なのか。

答 円谷議員 安達太良川、万世のポンプ場は安達太良川の水位が 4.7 メートルになれば、逆流を防ぐために水門を閉めて、ポンプを稼働させるのが基本の考え、8/5 万世地区の水害では安達太良川の水位が上がり逆流したのではなく、1 時間あたりの雨量が多く、内面で浸水した。市には、今後、雨量や地域の状態によっても稼働するように要請している。

問（市民）何とか石の池の放射能がニュースになって、東京の親戚とかインターネットを見て心配された。

答 作田議長 高木本宮台の明神石池が新聞の一面に、放射能 37 万ベクレルと報道された問題。特別委員会で問題になった。県は、水を抜いて再調査をしたいとしているが、市としては、水によって放射能が遮蔽されている状況もあるので一概に分かったとはならない。どうするか県と協議をしたい。

答 国分議員 ポンプ場の話。調べて回答する。

問（市民）放射能とか放射線とか私たちは分からない事がいっぱいある。野内さん？とか専門家に来てもらい説明をしてもらえないか。

答 作田議長 野口先生は、東京から来るので、ただと言う訳には行かない。現在までにサンライズとかで話をしてもらっている。今後も機会があると思うので是非参加してもらいたい。

問（市民）町内で火災が発生した。消防団員もサラリーマンが多い。参集が大変だ。初期消火に当たってOBの方の活躍が良かった。身分の事もあるがOBの方々も活躍できるようにしては？

答 作田議長 初期消火は大切。消防団員も勤めが多い。地域の自主防災組織が出来ているところもある。充実させたらどうか。事故にあった場合どうするか。三春の例として、消防団を辞めたあと準消防団。可能かどうか、研究課題。

問（市民）話が暗い。必ず未来は来る。議会でも市でも一丸となって、方向性を作ってもらおう努力を。

答 遠藤議員 色々な要望、意見があったが予定された時間となったので以上で意見交換会は終了とさせて頂く。

国分議員＝司会＝まとめ 議会は合議制、一人二人の意見は通るわけではない。市長は執行権がある。議会は議決権があるだけ、議会が一丸となって同じ方向にまとまっていけば何とかなる。皆様方の意見が市政に反映できるように、努力をしていく。

以上で終了